

第三回「松濤中学校建て替え準備委員会」を実施しました

第三回委員会では、他学校の参考事例をもとに新しい学校の学習空間のイメージを共有し、新校舎の配置の考え方を提示しました。また、新校舎の中に必要な諸室と機能ゾーニングの検討状況を報告し意見交換を行いました。

第三回委員会実施日時等
 実施日時：令和5年5月8日(月) 15時30分～16時50分
 会場：松濤中学校 少人数教室

発行年月日：令和5年6月13日
 発行者：渋谷区教育委員会事務局
 住所：〒150-8010 渋谷区宇田川町1番1号 区役所4階
 問い合わせ先：電話：03-3463-2795 Mail：sec-gakko-seibi@shibuya.tokyo

第三回委員会 議題

- ①「新しい学校」のイメージ紹介〈私立学校の事例〉
- ② 学校施設の配置に関する検討(案)について
- ③ 学校施設の機能ゾーニング(案)について / ④ 諸室比較表について

①「新しい学校」のイメージ紹介〈私立学校の事例〉

「新しい学校」の学習空間のイメージを共有するために、教室の間仕切りの作り方や、教室とラーニング・commonsを一体化して学びの場として活用するなどの工夫が見られる、私立学校の事例を紹介しました。

Q 新しい学校では、現在の校舎にあるような廊下は無くなるのでしょうか？

A 廊下と学びの場が一体となった、オープンスペースを設けます。廊下幅を既存より広くすることで、廊下としても機能し、学びの場としても使えるように考えています。

Q 教室の壁が可動式になると、教室の外や隣の教室の様子が目に入り、生徒の集中力が低下しないでしょうか？

A 必要に応じてロールスクリーンやカーテンを併用するなどの対策を検討していきます。

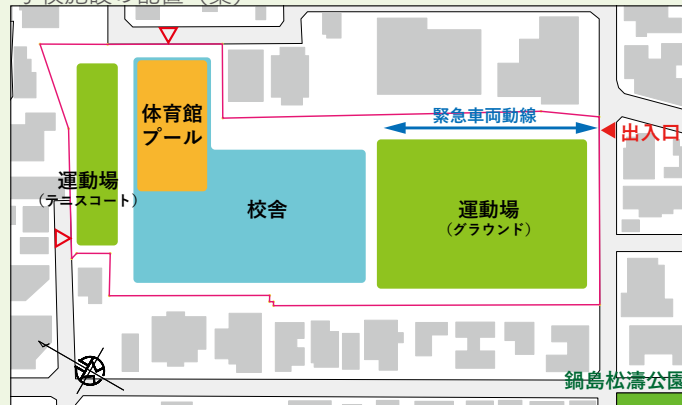
※ラーニング・commonsとは、子供達がタブレットや本で情報収集しながら主体的に学べる共有空間です。一人で集中する学び、グループで協働する学びなど多様な学習スタイルに対応しています。

② 学校施設の配置に関する検討(案)について

学校施設の配置は、第二回委員会で頂いたご意見をもとに、既存校舎の配置に比較的近い計画案をベースとして検討を進めていく方針となりました。

なお、プールは下記の学校施設の配置(案)に示す位置の他に、道路に近いグラウンドの地下に配置する案も検討しています。

学校施設の配置(案)



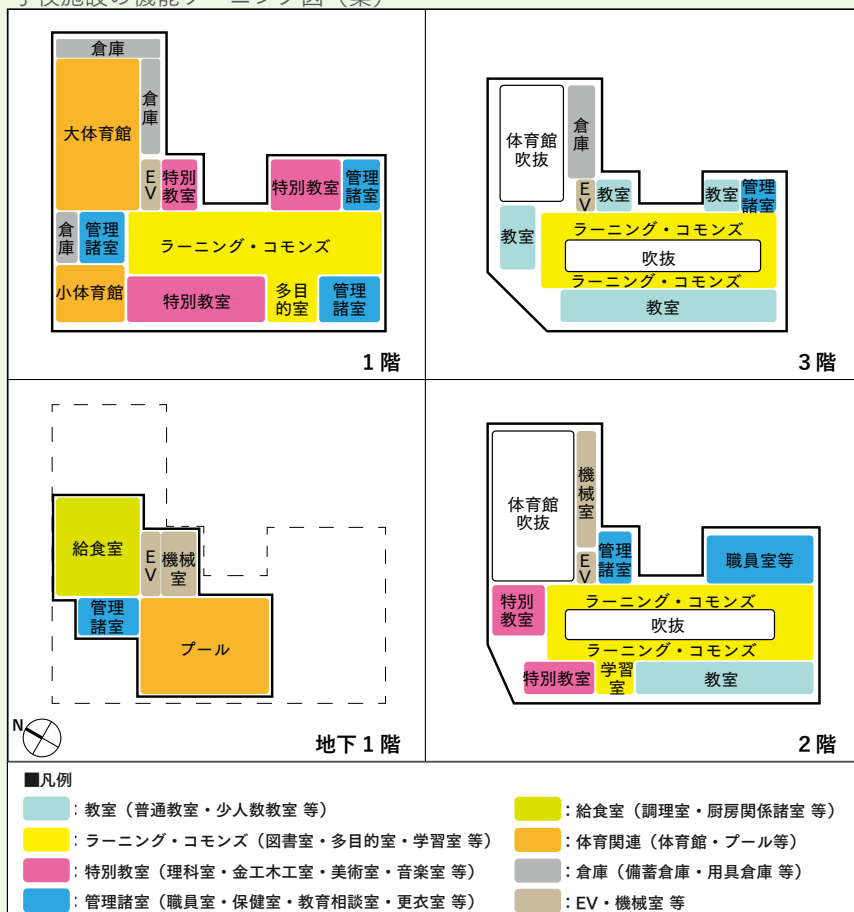
③ 学校施設の機能ゾーニング(案)について / ④ 諸室比較表について

新校舎に必要な機能のゾーニングについての検討状況を図を用いて説明しました。また、新校舎に計画する諸室の案を、既存校舎にある諸室と比較して提示しました。

新校舎の中心にはラーニング・commonsを配置し、ラーニング・commonsに面して教室や特別教室を配置する考えを説明しました。学年合同での学習から、グループ学習や一人で集中する学習まで幅広く対応できるような空間を目指して検討しています。

新校舎に配置する部屋は、教育上必要な機能を過不足なく設け、使用頻度の少ない場合は、他の部屋と兼用することで稼働率を上げることも検討しています。

学校施設の機能ゾーニング図(案)



ご意見 同窓会室やPTA室については、個人情報の取扱い等もあるので、地域開放の部屋とは別に、個別の部屋を設けて頂きたいです。

Q 現在の校舎にある中庭は無くなるのでしょうか？

A 今の場所で残すことができるよう、中庭の大きさを含めて、今後検討していきます。

Q 普通教室が西側に向くと、教室と近隣建物の間で向き合う面が多くなり、プライバシーに影響が出てくると思います。どのように対応するのですか？

A お互いの視線が見合わないよう住宅に面した窓には目隠しを設けるなど、プライバシーに配慮した対策を検討していきます。

Q 現在の校舎裏側の門は使用されていませんが、新校舎でも入口は表の門のみの使用となりますか？

A 裏側の門は、災害時の利用等も含め、近隣の皆さまのご意見も伺いながら検討していきます。